

表1 大防風湯使用10症例

症例	性	年齢	罹患年数	リウマチ症状	大防風湯服用期間
1	女	65	3	手こわばり	32ヵ月
2	女	77	3	手指腫脹, 下肢痛	23ヵ月
3	女	67	16	膝関節痛	16ヵ月
4	男	72	3	手こわばり	34ヵ月
5	女	53	4	手関節腫脹, 疼痛	31ヵ月
6	女	51	2	手こわばり, 手関節痛	27ヵ月
7	女	49	4	朝のこわばり, 手関節痛	46ヵ月
8	女	55	2	手指疼痛, 腫脹	18ヵ月
9	女	63	3	手指関節痛, 腫脹	13ヵ月
10	女	43	1	手こわばり	12ヵ月

表3 血虚の診断基準 (寺澤の血虚スコアより)

● 集中力低下 (6点)	● 顔色不良 (10点)
● 不眠, 睡眠障害 (6点)	● 頭髪が抜けやすい, フケが多い (8点)
● 眼精疲労 (12点)	● 皮膚の乾燥と荒れ, あかざれ (14点)
● めまい感 (8点)	● 爪がもろい, 爪床部ささくれ (8点)
● こむらえり (10点)	● しびれ感, 知覚低下 (6点)
● 過少月経, 月経不順 (6点)	● 腹直筋痙攣 (6点)

自覚症状の程度の軽いものは1/2の点数とする。
男性, 閉経後の女性は月経の項目を0点とする。

スコアの合計30点以上を血虚と判断する

ア変化については, 無効例では服用前平均21.5点, 服用後平均20.5点と, 特に有意な変化は認められなかった。一方, 有効例では服用前平均43.3点, 服用後平均21.8点と有意な低下が認められた ($p<0.01$; 表5)。

表4 臨床データの変化

症例	リウマチ症状	正 常 値											
		15以下		3~11		0.1以下		29~48		6未満			
		服用前	服用後	服用前	服用後	服用前	服用後	服用前	服用後	服用前	服用後	服用前	服用後
無効例	1	++	++	117	274	64	120	0.2	1.4	50.4	55.7	92.3	163.7
	2	++	++	40	40	18	22	0.3	0.6	41.7	41.4	62.5	60.9
	3	++	++	8	6	49	18	2	1.3	41.8	39.8	15.4	14.2
	4	+	+	317	287	2	4	0.4	0.4	34	29.8	382.3	360.1
有効例	5	+++	+	27	15	27	16	0.6	0.3	57.8	49.8	25.1	18.2
	6	+++	+	5	4	38	20	0.1	0.2	54.8	48.3	8.3	4.9
	7	++	±	21	21	17	22	0.1	0.1	30.5	31.4	24.5	19.6
	8	++	±	2	3	18	13	0.1	0.1	62	47.9	5.2	5.1
	9	+++	+	42	21	20	4	0.1	0.1	57.4	46	33.5	11.2
	10	++	±	15	8	12	7	0.1	0.1	28	26.3	23.4	16

表2 気虚の診断基準 (寺澤の気虚スコアより)

● 身体がだるい (10点)	● 気力が無い (10点)
● 疲れやすい (10点)	● 日中の眠気 (6点)
● 食欲不振 (4点)	● 風邪を引きやすい (8点)
● 物事に驚きやすい (4点)	
● 眼光・音声に力がない (6点)	
● 舌が淡白紅・腫大 (8点)	
● 脈が弱い (8点)	● 腹壁が軟弱 (8点)
● 内臓のアトニー症状 (10点)	
● 小腹不仁 (6点)	● 下痢傾向 (4点)

自覚症状の程度の軽いものは1/2の点数とする。

スコアの合計30点以上を気虚と判断する

血虚スコアについては, 大防風湯服用前スコアでは, 血虚と診断可能な症例は無効例で4例中0例 (0%), 有効例で6例中3例 (50%) であった。スコ

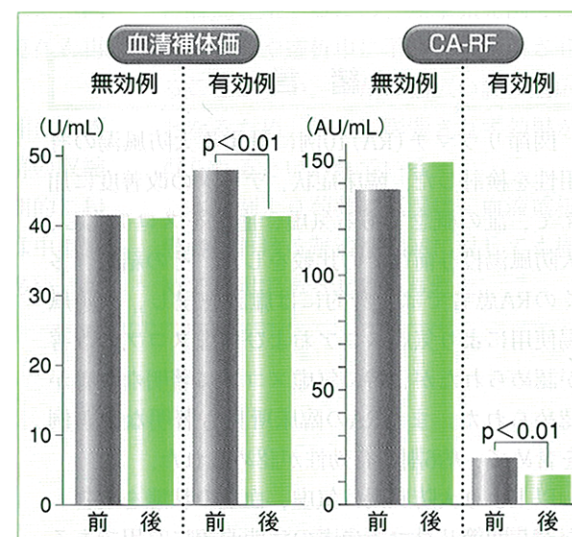


表5 気虚スコアの変化

症状	点数	無効例								有効例									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8
身体がだるい	10	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×
気力が無い	10	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×
疲れやすい	10	○	○	○	○	×	×	×	×	○	△	○	○	○	×	○	×	○	○
日中の眠気	6	○	○	○	○	○	○	×	×	○	△	○	○	○	○	×	×	○	×
食欲不振	4	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	△	×	×	×	×	×	×
風邪を引きやすい	8	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	△
物事に驚きやすい	4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
眼光・音声に力がない	6	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	△	○
舌が淡白紅・腫大	8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
脈が弱い	8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
腹壁が軟弱	8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
内臓のアトニー症状	10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
小腹不仁	6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下痢傾向	4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
合計点数		44	40	36	36	6	6	0	0	44	18	72	70	26	6	30	0	44	17

ア変化については, 無効例で服用前平均13.3点, 服用後平均17.0点と特に有意な変化は認められなかった。一方, 有効例では服用前平均31.0点, 服用後平均17.5点と有意な低下が認められた ($p<0.01$; 表6)。

著効例呈示

◆ 症例9: 63歳, 女性。

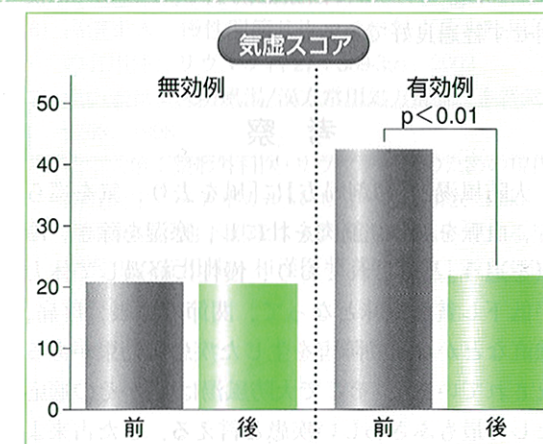
主 訴: 手指関節の腫脹, 疼痛。

現病歴: 平成14年頃より手指関節痛を認めていたが放置していた。平成16年7月に同部位の腫脹も加わってきたため当院を受診した。

現 症: 朝のこわばり (約1時間), 両側第2, 3指PIP関節の腫脹と疼痛が認められた。

東洋医学的現症: 全身倦怠感, 気力低下, 日中の眠気などの気虚の病態が強く認められた (気虚スコア44点)。一方, 集中力低下や眼精疲労などの血虚の病態も認められた (血虚スコア18点)。

検査所見: リウマチ因子 (RF) 42U/mL陽性, 抗ガラクトース欠損IgG抗体 (CA-RF) 33.5AU/mL強陽性, 血清補体価57.4U/mL, 血沈20mm/時間と高値を示し炎症所見が認められた。ただCRPは陰性で, また手指X線フィルムでRA変化は認められ



なかった。

臨床経過: 以上より初期のRAと診断し, 患者の希望もあり平成16年7月の再診時より漢方治療として大防風湯 (TJ-97) 10.5g/日分3の治療を開始した。NSAIDsやDMARDs, ステロイド剤などは一切使用せずに経過観察を行った。

投与開始1ヵ月後より臨床症状は徐々に軽減し, 約3ヵ月後の10月16日にはデータ上, RF21U/mL, CA-RF11.2AU/mLと著明に改善し, さらに血清補体価46.0U/mL, 血沈4mm/時間と炎症所見も改善が認められた。一方, 大防風湯による治療後, 気虚スコアは44点から17点へ, 血虚スコアは18点から0点へそれぞれ著明に改善した。現在も大防